# うめきた2期のまちづくりについて

### 1. うめきた2期のまちづくりの方針

- 〇うめきた2期を斬新で独自性が高く、世界に強く印象付ける「大阪の顔」となる都市空間とするため、 「みどり」を中心としたまちづくりを行う。
- ○「うめきた2期区域」の約16haを対象に、当区域の都市計画や平成28年度以降に開発事業者を決定するために実施が予定されている「(仮称)うめきた2期区域開発事業者募集」におけるまちづくりの基本的な考え方をまとめた「まちづくりの方針」を今年度中に作成。

#### 2期区域のまちづくりの目標

### 「みどり」と「イノベーション」の融合拠点

#### 世界の人々を惹きつける比類なき魅力を備えた「みどり」

連ち全体を包み込む「みとり」がここにしかない新しい都市景観を創出し、多様な活動、新しい価値を生み出す器となり、世界の人々を変きつける。

#### 新たな国際競争力を獲得し、 世界をリードする「イノベーション」の拠点

世界からの人材、技術を集積・交流させ、新しい産業・技術・知財を創造することで新たな国際競争力を推得し、致か国の成長エンジンとして世界をリードする「イノベーション」の拠点となる。

### ~導入する都市機能~

①新産業創出(例:帰原・医療、環境・エネルギー等) 対表素よい対象で関係の産業施権の強み・ボアンシャルを最大限発揮

②画際集客・交流(例:MICE・文化創造・条信等) が終ランシャル、関系の豊かな智市文化、人々を終めつけびあどり」の 特技活が、ながら、国際的な企業・産業活動等を誘致、展開

③知的人材育成(例:連携大学・大学院、国際化教育等) 知労時により世界をノーマネクローバル人材を育成、集出

なにわ筋線整備等で高まる拠点性を活かした 中核機能の導入で、関西の各都市との 連携、発展、交流を促進

南西の国際社会での存在局を新たなステージに 強力に引き上げる

## 2. 基盤整備事業概要の費用負担の考え方

公園整備	土地区画整理	新駅整備	鉄道地下化
(みどり化の実現)	(みどり化を実現するため、 他の事業にはない制約のか かったものとなる)	(なにわ筋線具体化の際には 広域鉄道ネットワーク計画上の 結節機能を有する点を踏まえ)	(地域のまちづくりの基盤 となる事業であるため)
府市折半	府市折半 ※保留地処分金を除く	府が応分の負担 ※なにわ筋線の具体化にあわせ別途協議 ※鉄道事業者負担を除く	市の負担

### 3. H27年度予算事業内容

(1) うめきた2期区域まちづくり方策等検討事業 当初予算額 400万円

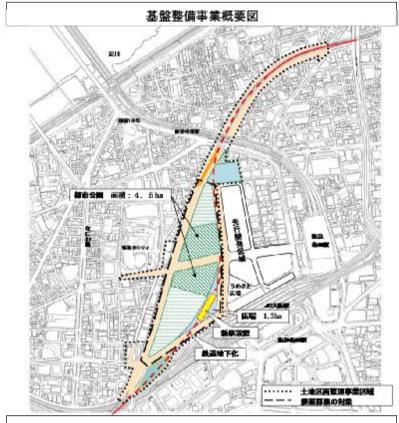
〔総事業費1,200万円(府:400万円、市等:800万円)〕

- まちづくりを行う民間事業者の2次公募において、より優秀な提案を得るため、大阪市等と連携して公募要項の 作成に向けた検討を実施。
- (2) うめきた地区土地区画整理事業

当初予算額 1,250万円

〔総事業費5,000万円(国:2,500万円、市:1,250万円、府:1,250万円)〕

○ うめきた地区(大阪駅北大深西地区)にかかる土地区画整理事業の調査設計に対し、大阪市への補助を行う。



#### まちづくりのスケジュール(案)

